

# 風の流氷

【短歌】

岡崎 桜雲 選

年末の廊下一面布団干す帰省の子らの無事祈りつつ  
御在所山が雪を被る日その裏の我が古里も雪積もりおり  
受話器もてカナリアとなりし初孫の弾む息吹と会話する夜  
此の一言何故あの日言えずして今宵つぶやく八十路の杖に  
昼食は日当たりの良き庭先で孫の土産の茶漬けと共に  
紅梅のほのかに匂う散歩道岸にもぎの色濃くなりて  
古里の二反に余る四角田に甥等見事に冬の野菜を  
老女ゆく自転車に乗りやすいと又乗りたいと羨みて見る  
前山に音もなく降る初雪を独り見てをり生煮湯すすりつ  
母の手も天津甘栗もぬくかりき引廻しコートのをれともうと  
朝方の炬燵に坐るひとときを庭に賑わし目白らの声  
風のように淡く名もなくすずかけの鈴朽ちるとも風今もなお  
悲しみを涙で流す術を知る寒空の星輝くを見て  
影法師ふたつ並べて孫とゆく春まだ浅き朴ノ木公園  
生れしより九の月なりし緑子をここまで育てし母の苦勞は  
岬の西の海のただなか養殖の生簀に向ひ一つ急ぐ舟  
日暮れまえ油蟬らは声あわせ蝸ひとつ澄み切った声  
轟音と風唸る夜半じつとして選挙速報寝つつ見ており  
年齢のこと思へば心せくものを君は言ひいづ雪の運河を  
わが父祖の墓を移さむと話する十月山寺みんみん鳴けり  
貴方はしつかりした人と聞いておりますがんばってねと愛の激励  
母が殖やしし千両も早おとろえて人住まぬ家は朽ちてゆくのみ

五百蔵利美  
森本 幸美  
中村 紫乃  
西野地 薫  
畠山 千江  
岡本 初美  
小松 隆之  
盛岡 雛子  
岡村 敏子  
大岸由起子  
坂上のぶ子  
原 茂  
小松 敏子  
山崎 貴子  
高田 清子  
小松もとみ  
柿田 我里  
伊藤 清子  
佐竹 玲子  
都築 初代  
古谷 由美  
佐々木真里

桂の木伐り落とされぬ鳩の巢をあらわに見せて大空青し  
母持ちし七段かざりのひな人形飾りてなくて倉にねむれる  
窓下の湖は暗く岸近くあまたの声は鴨の声らし  
新聞にも「老い」という字の多かりき九十路の迷路を競って生きん  
如月の庭にほのかに梅の花手折りてみたいやそのままに  
この村に嫁して過ぎにし六十年夜更けて思ふ一日ひと日を  
七人の家族そろいて初詣今年の抱負それぞれあるらし  
工科大のイルミネーション煌めく中新婚の子らに距離おき歩む  
おつとつと少しよろけつつ風呂洗ふまたまた元気に動ける幸せ  
八十路坂登りはじめて又一つ楽しき日もあり辛き日もある  
台風の過ぎたるあした御社の大樹たおれて無惨な姿  
雪雨を背に受けつつのごみ収集積み込む腕に力みなぎる  
お母さん何言ってるのと諫めしを今悔いており認知症介護  
白菜の補植をすれば苗あると台風のと持ちくくれる人  
恙無き一年暮れぬ夫と並みテレビの前に除夜の鐘聴く  
「木洩れ日」はまこと美しき日本語と外つ国人の言いしが嬉し  
風を負ひ風に逆らひお遍路さん地図を広げて指さしあひをり  
アメリカへ渡りし義姉の「帰郷す」と我が家を宿に選びくれたり  
お神輿をリヤカーに乗せておなばれの担ぎ手不足苦渋の策に  
帰りゆきし娘の椅子をそのままに温みありけり幾日保たむ  
芙蓉の実揺すればカラカラ音のする枝先にピンクの花咲きつぎて  
たくさんのでやりたいことを描きつつ体休めるのもどかしさ

小松 信子  
鍵山 春子  
宮地 亀好  
谷内 務  
公文 千恵  
吉本 悦子  
門田 明子  
古川 安子  
竹村 咲子  
林田 幸子  
小松 禮子  
武内 弘子  
大石 綏子  
松中 賀代  
公文 正子  
刘谷美代子  
岩井 純子  
秋 星  
寺内 啓子  
町 耿子  
明石 敬恵  
吉川 恵

俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載を希望される方は、掲載月の前月1日までに、ご応募ください。  
【投稿先】香美市役所総務課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係  
〒782-8501（住所記載不要）FAX 53-5958

## 図書館だより

市立図書館

### ◆第60回子ども読書週間

市立図書館では、県立図書館の移転に伴い、たくさんのお本をお借りして貸し出しをしています。いろいろな本と出会う機会です。親子で読書週間を楽しみましょう。

【期間】 4月23日（月）～5月12日（土）

### 【標語】

はじまるよ！本のカーニバル

### ◆橘忠衛文庫のご案内

土佐山田町出身の英文学者、故・橘忠衛先生の弟子の会より、平成10年に寄贈された約4千冊の蔵書が、本館2階で閲覧できます。洋書・和書があります。貸し出しはできませんが、ぜひご覧ください。

### ◆文学散歩～吉井勇と猪野々々

吉井勇記念館と香北分館の共催により、文学講座が開催されました。雨天の中でしたが市内外から来場があり、好評を博しました。今後も、吉井勇記念館と共催で文学講座を開催する予定です。お楽しみに！

### ◆ベストリーダー（よく読まれた本）

#### 一般図書

- 1位 九十歳。何がめでたい（佐藤愛子）
- 2位 蜜蜂と遠雷（恩田陸）
- 3位 騎士団長殺し第一部（村上春樹）

#### 児童図書

- 1位 奈良時代のサバイバル（細雪純）
- 2位 火災のサバイバル（スウィートファクトリー）
- 3位 鎌倉時代のサバイバル（イセケヌ）

#### 絵本

- 1位 おたすけこびととあかいボタン（なががわちひろ）
- 2位 アンパンマンミニニキアラザかん（やなせたかし）
- 3位 ここからだしてくれ！（セドリック・ラマディエ）

### ◆臨時休館日のお知らせ

蔵書点検・資料整理のため臨時休館します。  
本館 3月7日（水）～9日（金）  
香北分館 3月5日（月）物部分館 3月6日（火）

## Pick Up

### 好きな和布でアクセサリー

高橋ひとみ 編  
装いの仕上げに身につけるアクセサリーに心が浮き立つ。お気に入りの和布で手作りはいかが。着物のリメイクにもぴったり。



### テラー伊三郎

川瀬七緒 著  
田舎町の老舗紳士服店に飾られたコルセット『コール・パレネ』。それは人生を諦めていた高校生の主人公・海色を変えていく。著者ならではの一冊。



### 緑の庭で寝ころんで

宮下奈都 著  
ふるさと福井で3人の子どもたちを育て、小説を書いて暮らしている著者の日常を綴るエッセイ。作家として、母親としてのまなざしが温かい。



### 地域づくり支援員の

# まがせちよ記

はじめまして、昨年10月から地域づくり支援員をしている馬場智也です。

物部町の庄谷相・拓・中谷川という3集落の担当で、集落を通る『土佐塩の道』の活動にも関わっています。

私は土佐山田町の出身で、物部町にはあまり来たことがありませんでした。しかし、大学の夏休みに塩の道の活動をお手伝いしたとき、物部の文化や歴史に触れてとても新鮮に感じ、地域の方々に感謝してもらったことがうれしく、大学卒業



後にUターンしてこの仕事に就きました。物部地域全体を見ると、やはり高齢化が着々と進んでおり、人も少なくなっているのが現状です。その一方、『土佐塩の道保存会』や『奥ものべじじばば安全会』など、地域で積極的に活動している団体もあります。年齢を感じさせないほど元気な方が多く、自分も見習わないといけないなと思っています。

これから、地域の方々の生活を手伝いながら、土佐塩の道の活動に関わってくれる仲間も募集中ですので、少しでも興味がある方はぜひ声をお掛けください。（地域づくり支援員・馬場智也）